

# 烏山線利用向上対策特別委員会研修報告

本委員会は、12月19日から20日にかけて岩手県にあります三陸海岸を縦貫する路線「北リアス線」に赴きローカル鉄道の観光活用と利用促進について視察研修を行いました。

北リアス線は、第三セクター方式の三陸鉄道株式会社が運営する路線です。近年は乗客数の減少に伴い経営状況は厳しいものであるとの事です。

先の東日本大震災に伴う津波で甚大な被害を受け、一部路線は早急な復旧をいたしました。未だに運行できない区間があり路線は分断されている状況でありました。

実際に乗車してみますと、アナウンスで各駅の名所旧跡の案内を行い、太平洋を望めるビューポイントでは数分間停車し車窓を眺められるような工夫もされています。休日には、お座敷列車などの企画列車の運行がされており、乗車率アップへの取り組みが随所に感じられました。

また、観光活用について久慈駅近くにある道の駅を訪問し観光物産協会の事務局長さんにお話を伺い意見交換を行いました。

この久慈市は、NHK朝の連続テレビ小説「あまちゃん」のロケ地となった場所で、一躍話題のスポットとなり観光客が増加し鉄道の乗客も増加したとのことです。この機会を受け官民あがての観光客受け入れ体制を整備し、今後も一時的なもので終わらせることなく新しい話題づくりをしていきたいとのことでした。

いよいよ、JR烏山線にも3月から蓄電池車両「アキユム」が運行となります。

本市でもこのチャンスを逃すことなく烏山線利用向上、観光振興及び地域活性化の起爆剤となることを願うものであります。そのためにも官民一体となったおもてなしの心が必要だと強く感じたところです。

烏山線利用向上対策特別委員会 委員長 小森幸雄



北リアス線久慈駅にて